

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ロジータ記念	2018/11/28	SI	川崎	2100m	ミドルペース	重	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	パパドブロス	牝3	54	本田	エスポワールシチー	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	D	B	C	C	C	C		
2	2	ハーキマーダイヤ	牝3	54	米倉	タイムパラドックス	ロベルト系	キングカメハメハ	ミスプロ系	D	B	B	C	C	C		
3	3	ピースフルエンゼル	牝3	54	今野	ゴールドアリュール	サンデー系	カコイシース	アリダー系	D	C	C	C	C	C		
4	4	ファーストスキップ	牝3	54	森	アツミラーレ	ミスプロ系	アフリート	ロベルト系	B	A	B	C	B	B	△1	
5	5	ベニアカリ	牝3	54	見越	タイムパラドックス	ロベルト系	Exceed And Excel	ノーザン系	D	D	D	C	D	D		
	6	クロスウィンド	牝3	54	矢野	ヴァーミリアン	ミスプロ系	アグネスデジタル	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	▲	
6	7	クリノアリエル	牝3	54	赤岡	ディーブインパクト	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	A	C	C	C	C		
	8	ミスマンマミーア	牝3	54	町田	タニノギムレット	ロベルト系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	C	B	B	B	B	△2	
7	9	マルカンセンサー	牝3	54	有年	ロージズインメイ	ヘイロー系	ブラックタイアフェアー	ミスプロ系	D	B	B	B	C	C		
	10	クレイジーアクセル	牝3	54	御神本	ロージズインメイ	ヘイロー系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	A	A	A	B	A	B	◎	
8	11	タオルデスカーフ	牝3	54	本橋	ハービンジャー	ノーザン系	ハーツクライ	サンデー系	D	B	C	C	C	C		
	12	ゴールドパテック	牝3	54	山崎	ゴールドアリュール	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	A	B	A	B	A	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ファー クレイ クロス ゴール パパド マルカ ベニア クリノ ピース タオル ハーキ ミドルペース	<p>ロジータ記念のトライアル競走・サルビアカップでは前評判通りゴールドパテックとクレイジーアクセルの一騎打ちに。3着ピースフルエンゼル以下は大きく離されており、2頭の強さだけが際立ったレースだった。本番のロジータ記念でも新聞の印を見る限り、グリグリ2強ムード。果たして門別の王冠賞勝ち馬クロスウィンド、C1→B3と連勝中のファーストスキップがいる中、またしても2頭のマッチレースになるのだろうか。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はクレイジーアクセルの逆襲に期待。前走サルビアカップではゴールドパテックに先着を許したものの、ゴールドパテックは1枠1番から終始インペタで運べたのが大きかった印象。今回はそのゴールドパテックが大外の8枠12番。距離ロス避けられないはずで、前々でロスなく立ち回れる本馬に勝機が出てくるのではないかと。（以下省略）</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	パバドブロス		前走サルビアカップではゴールドパテック、クレイジーアクセルに完敗。今回は相手がさらにそろっているため、馬券圏内の好走は難しいだろう。		
2	2	ハーキマーダイヤ		東海地区の重賞で馬券圏内に入れるなら決して弱い馬ではない。末脚堅実なタイプで相手なりに走りそうだが、馬券圏内に入れるかと言われれば、さすがにそこまでは厳しいか。		
3	3	ピースフルエンゼル		前走サルビアカップではゴールドパテック、クレイジーアクセルに完敗。今回も3着争いならノーチャンスとはいえないが、2走前のC1の勝ちっぷりからB2勝利のクロスウィンド、B3勝利のファーストスキップに先着するイメージが湧かない。		
4	4	ファーストスキップ	△1	前走B3の大福山賞が完勝といえる内容。3走前の後に間隔を空けたことが成長を促したようで、ここに来て本格化ムードが漂っている。アツミラーレ産駒といえば、ハッピーズプリント、トキノエクセレント、ミスミランダーなど。距離の融通は利くタイプが多い。		
5	5	ベニアカリ		2走前のサルビアカップではピースフルエンゼル、パバドブラスにも後れを取っての5着。今回のメンバーでは掲示板に入るのも難しい。		
	6	クロスウィンド	▲	前走さざんか賞はスタートで挟まれて位置を悪くし、4コーナーからは外目をやや強引に追い上げる形。人気こそ裏切る形になったが、着順以上に評価できる内容だった。クレイジーアクセルをゴールドパテックが早めに追いかけるとすれば、その直後から運べる本馬に展開的なメリットがあるだろう。		
6	7	クリノアリエル		園田に転入初戦の前走はJRAのダート未勝利を勝ち上がれなかったマーナガルムに完敗。ダートグレードで結果を残したゴールドパテック、クレイジーアクセルが相手ではさすがに分が悪いだろう。		
	8	ミスマンマミーア	△2	関東オークスでは3着クレイジーアクセルから0.8秒差の4着。当時くらいのパフォーマンスを見せられれば、3着争いなら加われるだろう。ただササ針明けて調教の動きがいまひとつ。本調子を欠いているかもしれないが、当時のパフォーマンスを出せる保証はないか。		
7	9	マルカンセンサー		前走スターバーストカップはモジアナフレイバー、リコーワルサーらが出走しており、相手が悪かった一戦。それでもゴールドパテック、クレイジーアクセルは戸塚記念の走りから牡馬一級線相手でも互角に渡り合えるレベル。準重賞で完敗だった本馬では力不足だろう。		
	10	クレイジーアクセル	◎	前走サルビアカップではゴールドパテックに先着を許したものの、ゴールドパテックは1枠1番から終始インペタで運べたのが大きかった印象。今回はそのゴールドパテックが大外の8枠12番。距離ロス避けられないはずで、前々でロスなく立ち回れる本馬に勝機が出てくるのではないか。		
8	11	タオルデスクーフ		2走前のB2・ハートビートレディーズではクロスウィンドより2キロ軽い斤量を背負いながら完敗。今回はそのクロスウィンドが馬券圏内に入れるかどうかのギリギリのライン。本馬は頑張っても掲示板までだろう。		
	12	ゴールドパテック	○	3歳春までは差し一手の他力本願タイプだったが、関東オークス以降は正攻法の競馬ができるようになり、レースぶりに安定感が出てきた。サルビアカップ1枠1番(8頭立て)→ロジータ記念8枠12番(12頭立て)と状況は悪くなるが、クレイジーアクセルを除けば、能力差は歴然。		